



風立ちぬ

つよく かしくく あたたかく
立川中学校通信
第1号
平成31年4月12日(金)発行

祝入学式 32名の新入生を迎え、新年度スタート

4月6日(土)、平成31年度入学式が行われました。希望に満ち溢れた32名の新入生を迎え、生徒数94名、教職員24名で、希望に満ちた平成31年度のスタートです。入学式において、贈られた新入生へのメッセージを掲載します。



校長式辞 中里浩也校長 (要旨)

充実した中学校生活を送るための3つの話。

1つめは「夢と目標に向け努力すること」なりたい自分を描き、今のこの時間を大切にしっかり生きる。夢や目標がまだはっきりしない人は、先輩や身近な大人をロールモデル(お手本)にして、自分の生き方を考えること、何にでも積極的に挑戦すること。

2つめは「真実を貫き生きるために、自己を律すること(校歌一番の歌詞)」理想や正義に向かい正しく生活するために、自分の心をコントロールする力を身につけることが必要。

3つめは「本当の意味で仲間を大切にすること」夢と希望を抱き、新しい生活を始める今、相手を尊重すること、公平であることを考えてほしい。仲間と強い絆で結ばれることで、中学校生活は充実したものになるし、中学校での経験が、将来、仲間とチームを組んで答えのない課題に立ち向かう時に必ず役立つ。



来賓祝辞 原田真樹庄内町長 (要旨)

幕末の志士、清河八郎の後輩である立川中の生徒の皆さんは、少人数を生かしたきめ細かな指導で力を発揮し、部活動ではそれぞれが貴重なメンバーとして努力して上位大会に出場している。最上川舟唄は地域の評判になっている。中学生の活躍が町民を明るく元気にしてくれていることに感謝。先輩達の功績を、2・3年生と一緒にさらに高めてほしい。

中学校は「将来の夢と希望を見つける3年間」自分が考えた通りにならなかつたり、失敗しても、失敗の中にこそ大きな可能性が潜んでいる。失敗を恐れずに挑戦を。

保護者の皆様へ。子ども達の自立に向けてこれまで以上に学校と家庭の連携が重要。子どもをよく見つめ、人格を認め、しっかりと話し合う。それでも困った時は、早めに先生方に相談をして頂きたい。



生徒会長歓迎のことば 長南 快生徒会長 (要旨)

これから始まる生活への期待と喜び、不安。さまざまな気持ちでいっぱいだと思いますが、心配は要りません。今まで生活をともにしてきた仲間がいます。僕たち上級生もいます。困ったことがあれば、いつでも僕たちに気軽に相談してください。先生方も手を差し伸べてくれます。みんなで力を合わせ、少しずつ中学校生活に慣れてください。

立川中学校は、二大行事「運動会」「文化祭」、授業、部活動に一生懸命に取り組んでいます。たくさんの方に挑戦して、自分の可能性を切り開いていきましょう。

中学校生活は、自ら考え、行動したことが大きな成長につながります。その中には、楽しいことややりがいのあることがたくさんありますが、苦しいことも起こります。そんな時こそ、仲間と励まし合いながら、一つひとつ乗り越えていきましょう。それが大きな満足感や充実感となります。

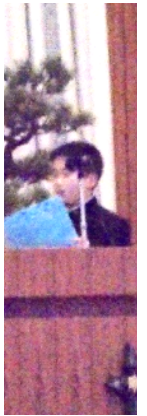
在校生 歓迎の合唱「最上川舟唄」指揮 佐藤柗太

郷土を唄う2・3年生の迫力ある合唱で聴衆全員を魅了しました。



新入生誓いのことば 真鍋拓未 (要旨)

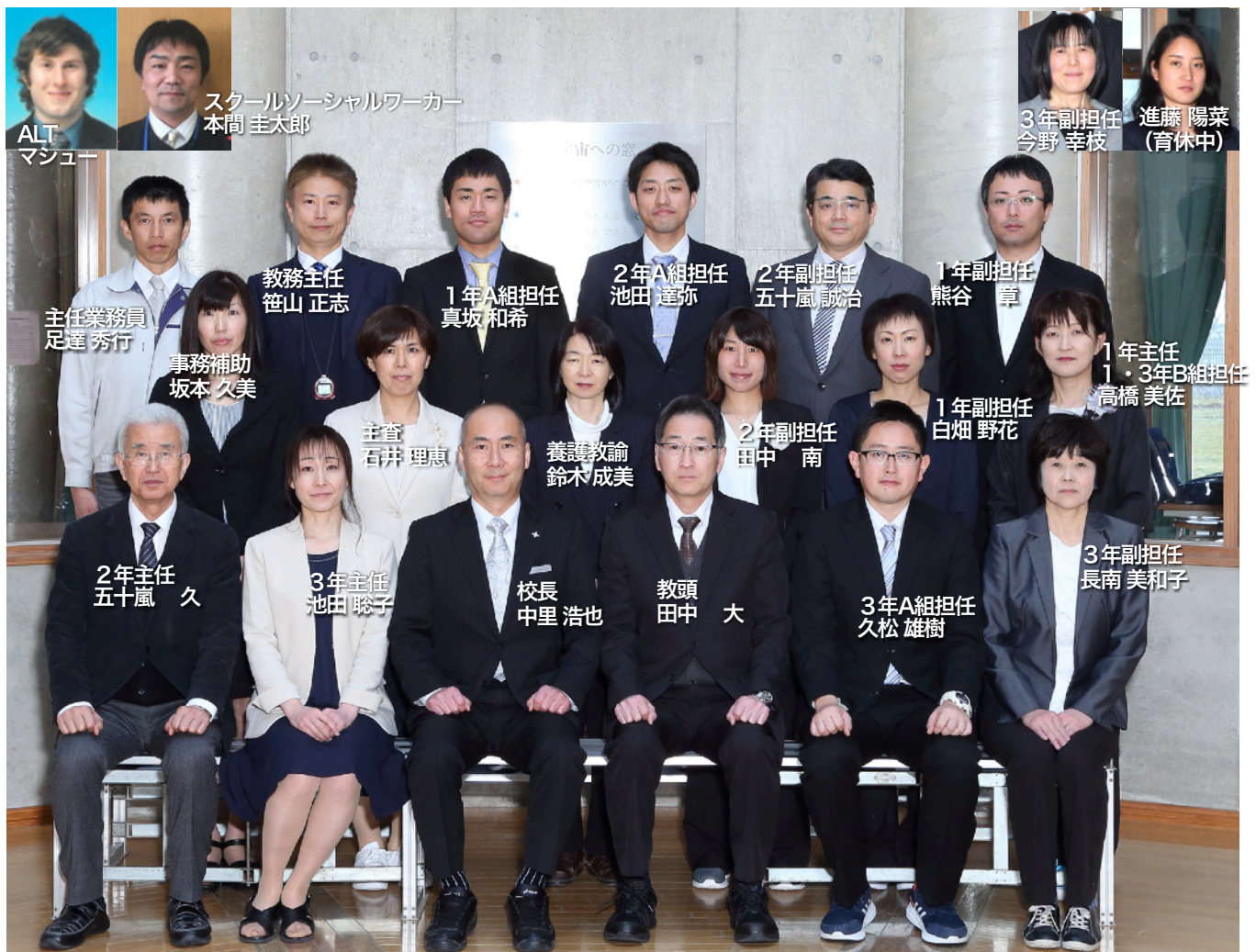
僕は、中学校でがんばりたいことは4つあります。
1つめは、テストでいい点数を取ることです。そのために毎日家庭学習にしっかり取り組みたいです。
2つめは、あいさつです。小学生の時、小中合同あいさつ運動をして、中学生の皆さんのあいさつのすごさを感じました。
3つめは、生活リズムを崩さないことです。特に休日前は遅くまで起きていることがあるので、気をつけて生活したいです。
4つめは、部活です。勉強だけでなく、立中の伝統である「文武両道」をがんばりたいです。先輩がアドバイスしてくれたことを、良く聞いて行動にうつしたいです。
以上のことを心に留め、精一杯がんばりたいと思います。



教職員24名、よろしくお願ひします

平成31年度の教職員は以下の24名です。お子さんの成長のために精一杯努力してまいります。よろしくお願ひします。

この他、スクールカウンセラーの永嶋美幸と上林彩子が、週に1日、立川中に勤務します。進藤陽奈は育休中です。



お子さんのことや学校のこと、お聞きになりたいことや相談したいことがありましたら、担任や学校にお気軽に連絡をいただきたいと思ひます。

電話 56-2075 FAX 56-2284

メール tachikawa-jhs@shonaitown.ed.jp

文責：校長 中里 浩也